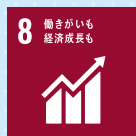


沖縄トヨタ自動車株式会社

2030年のあるべき姿(ビジョン)



弊社は「沖縄にとってかけがえのない会社へ」を目標に掲げ、自動車会社として、環境・地域社会・安全といった多方面の課題に対し、何をすべきか何ができるかを常に考え、行動していく姿勢を大切にしています。今後2年間で特に注力するモータースポーツツーリズム、地域交通課題解決、水素社会の実現、コンプライアンス遵守、エコドライブ活動を通して、地域活性化や環境負荷の低減、公平なモビリティ社会への貢献に取り組んでまいります。誰ひとり取り残さない多様なモビリティサービスを拡大し、地域やお客さまに合ったモビリティサービスで「全ての人に移動の自由を」の実現を目指してまいります。

認証期間において特に注力する活動・取組

取組概要

経済	モータースポーツを通じた地域経済活性化への貢献	「Toyota Gazoo Racing ラリーチャレンジ」という全国12会場で開催され、自治体と販売店が連携する地域イベントを沖縄県内でも引き続き開催し、宿泊・飲食・観光などの経済効果を生み出す。	
社会	AIデマンド交通システム「チョイソコ」を活用した地域交通課題解決	宮古島市・東村・北谷町でAIデマンド交通「チョイソコ」を導入支援。利便性向上と人件費・燃料費削減や、廃線予定路線デマンド化により維持費削減と利用者増につなげ、地域企業と連携したスポンサー制度の導入を検討。	
環境	水素社会実現に向けた取り組み	沖縄県の水素社会実現に向けて、県内企業と連携し、自治体やトヨタグループのイベントで水素エネルギーをPRする。エネルギー自給率の低い沖縄において、水素の有用性を発信し理解と仲間を広げていく。	
ガバナンス	安心して働ける職場環境の実現	コンプライアンス重要性の高まりを受け、対応方法が分からない社員の不安解消のため、社内「リスク統括室」を新設。判断に迷う場面やトラブル時の相談窓口として機能させ、安心して働ける職場環境づくりを推進。	
社会	エコドライブによる「交通死亡事故ゼロ」と「カーボンニュートラル」への貢献	沖縄トヨタグループ全体でエコドライブを推進。自社オリジナル燃費管理サイトで社員の意識向上を図るとともに、実績を活用した「スマイルライズプロジェクト」により、エコポイントをお米券に換え、県内の子どもの居場所支援につなげる。	